

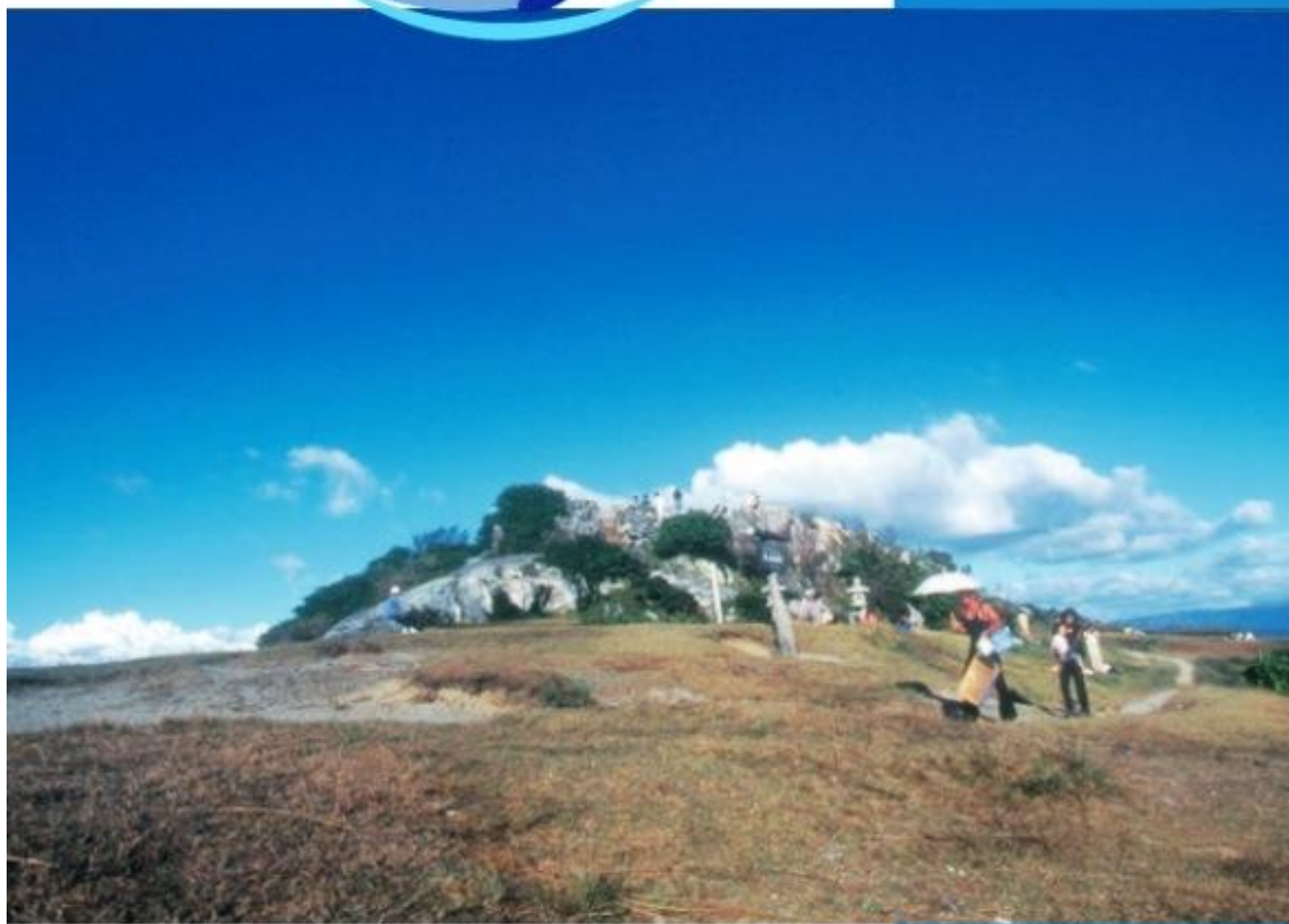
有田川町議会広報

# かわら版

平成18年11月発行

## 第3号

発行 有田川町議会  
住所 和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野2018番地4  
郵便番号 643-0021  
電話 0737-52-2111  
FAX 0737-52-3210



初秋の生石山 / 写真提供: 岩本 勉氏

### もくじ

議案および主な質疑 / 請願・陳情等……………	2～4
町長にもの申す(一般質問)……………	5～18
声のコーナー(議会傍聴記)等……………	19～20

# 一般会計補正予算 3億9410万円!!

## ◎補正予算の内訳

(単位：千円)

項 目	補正前の額	補 正 額	計
一 般 会 計	16,445,334	394,101	16,839,435
国民保険事業特別会計	3,401,161	109,348	3,510,509
介護保険事業特別会計	1,698,596	413,555	2,112,151
簡易水道事業特別会計	1,085,865	△4,644	1,081,221
簡易排水事業特別会計	3,341	419	3,760
浄化槽事業特別会計	35,445	497	35,942
公営下水道事業特別会計	1,397,804	293	1,398,097
水 道 事 業 会 計	234,547	3,809	238,356

平成18年第3回定例会は9月12日から26日までの日程で開催されました。本定例会には条例制定、17年度決算認定、18年度補正予算、工事請負契約などの議案が提案され、それぞれ審議しすべて原案の通り可決されました。

## 条 例 関 係

- ◎有田川町情報公開条例及び有田川町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定
- ◎有田川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定  
閉庁時間が5時15分から5時半に変更されました。
- ◎有田川町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◎有田川町福祉バス運行に関する条例の一部を改正する条例の制定  
運行区域に楠本、沼を加えました。
- ◎有田川町乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定  
県の制度改正に伴い、町も県にあわせて
- ◎有田川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定  
受給対象者を就学前児童まで拡大しました。また所得制限はありません。
- ◎有田川町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定  
70才以上の夫婦で年収520万円以上、一人が383万円以上の方が医療費3割負担。また出産育児金を30万円から35万円に引き上げました。
- ◎有田川町水道事業及び簡易水道事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◎有田川町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定



吉備庁舎窓口

# リニューアル藤並駅

## 携帯電話の不通話地域(五郷地区) 解消に向けて



老朽化した配水タンク (五郷地区)

### 議案質疑

○吉原地区簡易水道工事  
請負契約についての質

疑

**質疑** 地元業者への発注はできなかったのか。これからも同様の工事が出てくると考えられる。

**水道課長** 地元発注が可能となるよう、業者の育成や役場の体制を整えていくべきでないか。

**町長** 簡易水道は専門的な工事である。今後地元業者でできる工事は、地元発注でやっていきたい。

特殊工事においても下請け業者として経験を積んでもらい今後、参加してもらえよう考えている。

**質疑** 南部高

区(垣倉地区)配水池耐震補強・補修工事と吉原地区簡易水道工事の請負契約において指名業者が重複している。両方とも同じ業者が落札する可能性があるが問題ないのか。

### 水道課長

双方とも特殊工事であり、特に南部高区配水池耐震補強・補修工事については施工できる業者が少なかった。

吉原地区簡易水道工事は一般の水道施設工事であったが、たまたま一つの業者が両方の指名基準に適合したため重複したが問題は無い。

○田殿小学校連携施設建設工事請負契約についての質疑

**質疑** この建物には、地元の木材が使われる設計になっているのか。

**町長** 内部、外壁、床については設計段階から紀州材の使用を義務付けているが、地元木材の指定にはなっていない。



田殿小学校連携施設がここにできます。

今後はすべて地元木材で供給できるような体制づくりを町をあげて取り組んでいきたい。

**質疑** 供給可能な木材については、できるだけ利用するよう働きかけを要望しておく。

○紀勢線藤並駅橋上駅舎  
新設及び自由通路新設  
工事に関する協定締結  
についての質疑

**質疑** 藤並駅施設工  
事で約3億8000万  
円、町施設工事で約  
5億2800万円と思  
うが、できるだけ事業費を  
抑えるよう求める。

地元業者への発注をど  
う高めるのか。今後、議  
会に駅舎改築の進み具合  
を説明されたい。

西口と東口の周辺の交  
通問題や風紀の問題から  
環境整備に配慮を。

**町長** もっと安くでき  
ると思っていた。駅舎の  
補助金をもらう関係で人  
がつどえるスペース作り  
を考慮した結果、こうい  
うことになった。

できるだけ事業費は  
安く抑えるよう言ってい  
る。地元でできるところ  
があれば要望していく。  
今後、議会への説明は  
詳しくしていきたい。

駅舎の一角に警察官の  
立ち寄り看板を立てて1  
日に1回は見回ってもら  
えるようにしたい。

**質疑** この駅舎の工事  
だけで特急が停まるよう  
になるのか。

**町長** JR和歌山支社長  
と協議中。おそらく感  
から言えば、完成すれば  
停めていただけると確  
信している。



新しい藤並駅のイメージ図

今定例会に提出された請願、陳情等は以下の通りです。

### 請 願 の 審 査

件 名	吉備中学校周辺へのパチンコ店出店計画の中止を求める請願	
提 出 者	有田川町 PTA 連絡協議会・吉備中学校 PTA 藤並小学校教育友会・田殿小学校教育友会 御霊小学校教育友会	採 択

### 陳 情 の 審 査

件 名	「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」採択に関する陳情	
提 出 者	全国労働組合総連合	継 続 審 査
審査委員会	総務文教常任委員会	

件 名	みかん園のかん水基幹施設の老朽化に伴い、緊急整備を行う経費に対する助成措置要望について	
提 出 者	有田川土地改良区	継 続 審 査
審査委員会	産業建設常任委員会	

件 名	久野原小学校水泳プール建設に関する陳情	
提 出 者	久野原小学校教育友会・久野原小学校 久野原区	採 択
審査委員会	総務文教常任委員会	

### 要 望 の 審 査

件 名	主要県道美里龍神線改修要望書「堂鳴海トンネル(仮称)」掘削のお願い	
提 出 者	有田川町清水行政局管内区長会	採 択
審査委員会	産業建設常任委員会	

# 町長にもの申す



こんなことが取り上げられました

登壇順	質問議員氏名	質問事項	登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	浦 博喜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源の有効利用と育成方法を問う</li> <li>・旧鳥屋城小学校の跡地利用</li> <li>・金屋中学校の耐震工事はいつになるのか</li> </ul>	6	佐々木裕哲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震対策「いざ」に備えて「いま」行政としてやるべき事について</li> </ul>
2	大岡 憲治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併特例債について</li> <li>・地上デジタル放送への対応について</li> <li>・路線バス和歌山線休止に伴う今後の取組みについて</li> </ul>	7	竹本 和泰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化へ対応する施策は</li> </ul>
3	前勢 利夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政問題について</li> <li>・農林業問題について</li> <li>・公共事業問題について</li> <li>・過疎、少子化問題と義務教育について</li> <li>・観光行政問題について</li> </ul>	8	西 弘義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災問題について</li> <li>・垣倉の愛宕山、地すべり問題について</li> </ul>
4	岡 省吾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道、橋梁の改修、改良について</li> <li>・栗生・二川統合簡易水道工事に関連して</li> </ul>	9	森本 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明恵峡温泉の将来展望について</li> <li>・明恵上人、宗祇法師の資料館を</li> </ul>
5	殿井 亮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防自動車大型車購入について</li> <li>・建築基準法による町道のセットバックした跡地について</li> <li>・廃土問題について</li> </ul>	10	増谷 憲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり交付金事業について</li> <li>・介護保険事業について</li> <li>・障害者自立支援法について</li> <li>・町民の健康対策として、保健事業について</li> </ul>
			11	尾上 武男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業の住民へのピーアールについて</li> <li>・有害鳥獣対策及び岩倉地区の台湾ザル対策について</li> </ul>
			12	堀江真智子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育について</li> <li>・障害者福祉について</li> <li>・ゴミ問題について</li> </ul>
			13	桐部 重計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道・農道、舗装予算（維持修繕等）について</li> </ul>

# 町民の心をひとつに 町の活性化を求める！



浦 博 善

## 質問

大切な森林資源をこのまま荒廃させてしまいか、再び宝の山として再生させるか、重要な時期である。

町内の植林した山の多くは20年から30年生の杉や桧であり、この時期に間伐などの手入れを施さなければ、将来においても利用価値の低いものとなってしまふ。

有田川町の大部分を占める森林の持つ豊かな資源を育み、将来に向けて宝の山となるよう、森林資源の活用、林業の活性化に向け、町をあげて取り組むべきではないか。

**町長** 吉備地区の美しい水道水も清水や金屋地区の森林のおかげであり、森林資源の活用は大事であると理解している。本年度は50haの間伐30haの枝打ちを予定してい

る。また作業道等の基盤整備、緑の雇用事業や企業の森などの制度を利用し取り組んでいく。

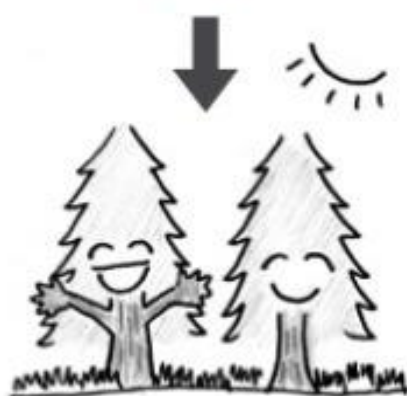
## 旧唐原小学校の跡地利用の早期検討を

**質問** 新庁舎の建設を求め、また独自にアンケート調査まで行ったような、金屋地区の住民にとっては非常に関心の強い土地である。

町の中心部に位置し、資産価値の高いこの土地をいつまでも放置しておくのは、町の大きな損失



間伐前



間伐後

である。早急に有効利用を進めるべきではないか。  
**町長** 国道や町道の拡幅により面積は減少し約4000㎡となる。地域住民の要望も聞いている。道路工事が終了しだい有効利用に向け検討していく。

## 金屋中学校の耐震工事を急ぐ

**質問** 耐震調査の結果、危険であると診断された校舎に子どもたちは通っている。東南海・南海地震のような大地震が

発生し、もしもの事が起こった場合、行政の対応の遅れによる人災であると言われても仕方ない。早急に子どもたちの安全を確保し、安心して学べる環境を整えることは、いかなる事業よりも優先するべきである。金屋中学校の耐震工事はいつ実施されるのか。

**町長** 平成17年7月から第2次耐震診断を行い1階・2階部分は非常に危険であるという結果が出ている。この結果を受け、あらゆる方向から検討している、早急に耐震工事をしたいと思っている。



## 合併特例債の今後の計画は

大 岡 憲 治

### 合併特例債の使途は！

**質問** 合併特例債は、いうまでもなく合併する事によって、特別に認められたものである。

合併協議会によって策定された新町まづくり計画に沿った、旧町ごとにバランスのとれた計画となっているか。

**町長** 合併特例債の使用について、私は合併の条件のなかでも大きなメリットであると、住民に説明してきた。今後、10年間で総事業費に329億円(一般会計分)計画している。その内、特例債で122億円を見込んでいます。18年度においては、今のところ、コミュニティセンター建設事業費・道路建設改良費・都市計画総務費消防施設費や移動通信用鉄塔施設整備事業費等に合計

6億3200万円を充当している。今後は、策定中の有田川町長期総合基本計画の実施に旧3町がへだたることのないように盛り込んでいきたい。

### 地上デジタル放送への対応は

**質問** 当町には、共聴施設が63施設あり、この

内、旧吉備町では5施設、旧金屋町では21施設、また旧清水町においては、37施設となっている。国においては、山間部の離視聴地域で共同受信施設の改修などに多額の費用がかかることから、経費の一部を補助することが決定している。県においても、ブロードバンド基盤整備5ヶ年計画がすでに策定されている。当町もその重点地域に指定されているが、今後の取り組みはどうか。

**町長** 共聴施設を改修

しなければならぬことから多額の費用がかかる」と聞いている。これからは光ファイバーを用いた方策に切り替えていくために現在協議中である。住民の方々にもご協力をいただきながら、地域間格差をなくすためぜひ前向きに取り組んでいきたい。

### 路線バス和歌山線休止後の対応は

**質問** 路線バスの運行

は、昭和38年7月23日から、旧花園村・和歌山市駅間を44年間にわたり、運行してきた。当初は乗客も多かったが、ここ数年は乗客も激減し、本年9月30日をもって休止することに、地域住民は、残念だと思っている。すでに代替え路線も計画していたが、福祉バスをコミュニティバスに切り替え、

清水まで運行してはどうか。

**町長** 休止せざるを得ないということで残念であるが、当面は福祉バスで対応していく。できるだけ早くコミュニティバスに移行し、清水まで運行していきたい。



路線バスが運行していた札立峠(橋本地区)

## 不転の改革を!



## 前 勢 利 夫

**質問** 国、地方を併せた借金は長期分のみで775兆円に達し、20分間で利息が1億8600万円増えている。まさに不転の改革が求められている。「役場職員の定数は」「給料体系の改善は」「ボーナス、退職金は」どうか。

**町長** 3町併せての借金は260億円(一般会計分)を超え、起債制限比率も14%以上、20%の危険ラインに近づいている。改革は待たなした。職員数については合併前の444名から退職者が出たので、現在405名で10%強削減された。365名体制(26年度)を目標にしたい。給料については、民間企業との比較で、人半院の勧告に基づき48%下げた。退職金については、県市町村職員組合が運営にあっているので相談し、適切に対応をしたい。

**質問** 強い調整・保障・能力を有する地方交付税は地方分権を確立する上で、絶対必要だ。

**町長** 地方6団体が総力を挙げて対応している。

**質問** 町の総面積の70%以上を占める森林の活性化が、この町の発展を左右する。林業家を核として「CO<sub>2</sub>削減」「京都議定書の適正化」「緑の担い手事業」「間伐材事業」「木材加工場の充実」「製品販売・流通機構の確立」を図りたい。平成19年度より導入される森林環境税を有田川水系流域森林資源に対して、学術的研究費として充当してもらおうよう働きかけられたい。

**町長** 導入を図るべく取り組む。

**質問** 清水地域は郡内一番の米作地帯で「清水米」づくりに動んでいる。自然型農業を推進し

て「ブランド米」の開発が促進できるよう助成を求めろ。

**町長** 清水米の評価が上々だ。棚田対策を含め取り組んでいく。

**質問** 地方は社会インフラ整備(道路整備など)が遅れ、格差が広がっている。国の2006年骨太方針で、厳しい財政の中、特別枠「経済成長戦略大綱」は二階先生が管轄された。経済産業省の「新経済成長戦略」が母体で「地域活性化のための政策」「中小企業の活性化」が主力だ。現場として受け入れ体制を積極的に進めるべきだ。また公共事業の指名入札については「安からう」「悪からう」では住民の期待に添えない。指導体制の整備を行え。

**町長** 公共事業は必要だ。何が先かを検討しながら積極的に対応していく。指名入札は公正を期

し厳肅に対処していく。

**質問** 過疎地の学校対策は。

**町長** 義務教育の場を守るため、あらゆる方策を考え実践していく。本年度中に「有田川町教育を考える会」を立ち上げ、今後の教育のあり方を決める方針だ。

**質問** 旧3町を統合・統一した観光マップを作成し活用を。清水地域、上湯川の「日光大社」開発を。

**町長** マップを作成し活用する。「日光大社」を世に出すため、「自然歩道」を造り、高野龍神スカイラインや林道に結びつける。本年、来年各2500万円の国・県負担で施工していく。







## 国道・橋梁の改修、改良と 粟生・二川統合簡易水道工事に関連して!

岡 省 吾

国道・橋梁の  
改修、改良は?

**質問** 平成21年度を完成予定とし、岩野河バイパスが改修の歩みを始めた。このバイパスの起点には老朽化した吊り橋「平野橋」がある。バイパス工事に伴い、橋梁を支えている親線の移動が必要となるが、とうてい歩行者の安全が確保できるとは思えない。また迂回路としても重要な。改修と併せ橋を架け替えられないか。

**町長** 現在、掛け替えの計画はないが、様々な事情をかんがみの中で、最重要候補として架け替えられないものか県と相談の上、検討する。

**質問** 早期の改修が懸案されている長谷川地区、国道拡幅について現道を拡幅することが理想だが用地の問題で困難だと聞いている。進捗状況は。

**町長** 県に強く要望し



老朽化した平野橋(川口地区)

ているが、方線が決定されない以上、用地の買収もままならないとのことであり、早急の対応をお願いしている最中である。

**質問** 「二川橋」の改良は旧町からの案件である。その後、計画が順調に進んでいるか問う。

**町長** 平成19年度中を完成予定とし、着々と計画が進んでいるとの答えを県からいただいている。

### 簡易水道工事に関連して

**質問** 粟生・二川統合簡易水道工事は旧町からの継続事業であるが、今

事業の入札指名業者に地元業者が一人も入っていない。公共事業の減少で脆弱している地元企業のため、今後の配慮を強く望む。

**町長** 工事の地元発注は私の基本として考えている。この工事は、様々な工事が絡み合い、大手でないに対応できないため大手発注となった。

**質問** 配管布設工事について、例えば国道筋住宅地等で地元分割発注できなかったのか。

**町長** 分割してでも地元発注できないか検討したが、効率的に進めることから大手発注となった。今後、地元業者でできる工事は全て地元発注していく方向で考えている。

**質問** 請負主が和歌山市と遠方であり、工事完了後の施設の不都合にすぐ対処できるか。

**町長** 小さい不備につ

いては職員で対応できる。和歌山市から来るのにその時間がかららない。早急に対応できると聞いている。

**質問** 渇水時の対策と灌漑用水への対応については万全の対策をとれるのか。

**町長** 年一回の水量調査を着実にこなしたい。水が不足する場合は近隣市町村と連携をとり、迅速な水の確保に努めたい。水田の耕作をされている方には、万が一そういう事態になればポンプアップしてでも水の確保に努めたい。



水源地の太田谷川下流部(粟生地区)

## 防災対策と廃土問題



### 殿 井 亮

#### 消防車の購入は地域の実情を考慮して

**質問** 大型消防自動車の件だが、徳田地域では1.8メートルの道路、つまり2メートルの車は入らない道幅では機敏に動ける自動車しか良かったのではないか。今回購入した大型消防自動車は狭い所へ入れないのではないか。

**町長** 大型消防自動車の配備のあり方は地域的に出動しなければならぬ場合や山林火災で出力が高く、高低差が大きい所では必要なため、藤並田殿、御霊に大型の消防自動車1台ずつ配備することに決めている。また、地元消防団の強い要望もあり購入した。なお、小型車についてはすべて行き届いている。

#### セットバックした道路の維持管理は

**質問** 町民が良心的に

道路用地として提供してくれるセットバック済み

の用地の維持管理について、誠意ある対応をすることができないか。(セットバックとは建築基準法に基づき、土地に関する道路の幅員が4メートルに満たないときに道路の中心から2メートル後退して建物を建築すること。下がった部分は道路として建築物を建築できないのみでなく、門や塀や擁壁、花壇さえも建築することができない。)



セットバックによりご提供いただいた土地

**町長** 町に寄付してくれた土地については、責任を持って維持管理をしていきたい。

#### 土砂搬入への不安対策は

**質問** 横浜方面から土砂を運んできて、元業地団地へ土砂を入れていたが、聞いたが、町長はそのことを知っていたかどうか。住民は土砂について不安があると思う。また、開発公社が進入路として業者に無料で提供しているのはなぜか。

**町長** 横浜から土砂が運ばれているとは知らなかった。後からご指摘を受けた。業者の方にどういった経路で運んできたか、横浜市の見せたい検査が完了しているのか、臭いがないという判断を下している。ただ、住民に不安を与えてはいけないので業者に事前に何が入っているのか知らせていたかどうか、お願いしている。



土捨て場(熊井地区)

バブル時に和歌山のある業者がその土地を購入したが倒産し、放置されていた。このまま放つて置いたら大変なことになってしまうが、有田市の業者が土地を購入し、残土処理をするというので町も協力したいと申し出た。

また、当時そこには進入路がなかったので土地開発公社の土地を無償で提供した。しかし、この12月末には契約変更があるので業者と使用料について協議していきたい。



## 地震対策「いざ」に備えて 「いま」行政としてやるべきこと!

佐々木 裕哲

質問

前回の東南海・

南海地震から60年あまり経っている。近い将来今日、明日発生するかわからない。防災対策は行政としてできること、個人としてできることに分かれる。個人の生命・財産は個人で守るべきだ。しかし、行政としてやるべきことを行っておけば、被害は最小限で済む。そこで問う。

①災害予防と減災対策は  
②発生直後の緊急対策は  
③断絶した道路での輸送計画は

④弱者への対策は  
⑤継続的な啓発運動は  
これらの問題にどう取り組みむのか

町長 大地震が発生する確率は30年以内に50%とも言われ、いつ起きても不思議ではない。そこで有田川町でも、地域防災計画を今年度中に作りたい。予防対策として住宅耐震診断を今後進めた



防災グッズ

い。阪神・淡路大震災での犠牲者のうち約8割が住宅の倒壊等による圧死だと言われている。電気・水道・通信・交通のマヒ等が予想されるので、関係機関とも万全の計画を因っていく。また、自主防災組織の活動、業者との連携による輸送計画の確保。要支援者の救助が必要である。また、日頃から防災を心がけることで被害を少なくすることができ、小中学校でも防災教育を行うようにする。各家庭でも防災について話し合うことも大切である。自助・共助・公

助の防災意識の向上を図りたい。大災害は行政だけでは十分な対応はできない。住民一人ひとりの防災意識の向上が大切だ。

質問

平成16・17年

で耐震診断を受けた住民は、吉備地域24件、金屋地域6件、清水地域29件の合計59件である。国・県・町全額負担で受けられる耐震診断制度を住民があまり知らないのではないかと。耐震工事も60%は公費で負担してくれる制度がある。耐震診断について、もっと宣伝すべきではないか。

町内には一人暮らしの老人が1408人おられる。また、身体の不自由な方で特に障害度の高い1・2級の方が644人おられる。万が一の時この方がたの身の安全をどのように守られるのか。11年前にも阪神・淡路大震災があった。2年前にも新潟地震があった。「嘘」元過

ぎれば何とやら」で、しだいに忘れられていく。万が一ことが起きてても自分だけは大丈夫という自己過信が被害を大きくしている。自分の命と財産は自分で守る心構えが必要だ。そのためにも継続的な啓発活動が必要ではないか。

町長

耐震診断はもつ

と宣伝していきたい。弱者の対応は、消防・福祉関係者のみならず、自主防災組織やコミュニティ等、一体となり取り組みたい。今後とも防災の啓発に努めたい。



# 少子高齢化に対応する施策を



竹本 和 泰

## 子育て支援力を

**質問** 保育所の乳幼児保育等の施設整備と保育時間延長への考えは。

また、育児サークル、育児相談等、保護者が参加しやすい方策。例えば放課後の小学校を、地域の子育ての拠点とした支援策はどうか。

**町長** 保育時間は、並保育所ですでに早朝の延長保育を行っている。今後、各保育所で保護者の要望があれば、できる限り応えるよう検討する。育児教室は、古備・金屋地区で月2回実施し、子育て相談や保護者の仲間づくりの場としている。清水地域は、育児サロンを月2回実施している。

**教育長** 平成19年度から厚生労働省と文部科学省の共同事業で放課後子どもプランが設けられる。全町あげて取り組む。



育児サークルの風景

## 高齢者が参加しやすい事業を

**質問** 高齢者の生きがいづくりを支援し、高齢者相互の交流や世代間交流の場の充実による、社会参加機会の促進が求められる。高齢者が気軽に参加しやすいよう、旧町単位や小学校区単位の規模での事業も必要と思うが。

**町長** 高齢者の生きがいづくりの場として、7月から生きがい活動支援通所事業を社会福祉協議会に委託し、カラオケや手芸、遠足等行っている。

## 老人クラブの活動をどう支えるか

**質問** 地域の老人クラブは弱体化の傾向にある。要因は役員の負担増にもあると聞く。老人クラブの活力を生むため、事務局職員の充実による支援体制と、各庁舎等へ気軽に集まれる居場所が必要と思うがどうか。

**町長** 老人クラブの運営は自主的、民主的に会員本位の運営を行うことを前提としている。町として社協と連携し、できる限り応援していく。また、老人クラブの方々の居場所については、役場の中の空いたスペースをいつでも解放したい。

**質問** 老人クラブは高齢者福祉推進の役割が大きい。加入の促進、組織の活性化を図るため、行政のより一層の支援と身近な場所での事業企画も必要と思う。町当局の考えは。

**町長** 役員さんにどういふ点が負担になるのかお伺いしたい。また、事業を地域ちいさで行うのはよい。それぞれの地域には立派な公民館もあり、今後、いろんな事業を展開していきたい。



平成17年度 旧全郡町老人運動会



## 河床の浚渫問題の進捗状況は

西 弘 義

**質問** 防災において、有田川の河床の浚渫が、最重要問題である。今まで何回も質問しているが、現在の進捗状況はどうか。6月議会において、同僚議員も質問している。その時の町長答弁は「早急に県、国に強く要望する」となっているが、その後どうなっているのか。答えは出たのか。

**町長** 昭和28年の水害で大勢の命が奪われている。この有田川の浚渫問題は大変重要なことだと思う。議会では何度も質問していただいている。毎回陳情も行っているが、県の見解では、河床面積は変わっていないということだが、今度、高速道路の関係で1万6000㎡の土砂をもうすでに採り始めている。この工事は12月いっぱい終わると聞いている。そしてこの土砂は山田山に運ぶことになっている。また、砂



有田川の浚渫現場(日輪橋付近)

等を日を取ってでも採れないか県に申し込んだところ、不可能ではないと答えをもらっている。今後とも、防災においても河床の浚渫は重要な問題であり、引き続き土砂を採ってもらえるように県・国に強く働きかける。それから今年度から常時、ダムの水位を下けている。また、降雨時にはさらに水位を下けている。

今までは、降雨量100ミリ以上でなければ放流しなかったが、今では100ミリ以下でも予備放流をして安全を保つようにしている。

### 地滑り対策の進捗状況は

**質問** 愛宕山の地滑り問題は怎么样了。パイパス工事が起因として表面化したのではないか。また早急に対策をしなければ、パイパス工事がどんどん遅くなっているのではないか。町長の見解と進捗状況を問う。

**町長** 地滑りはパイパス工事によるものではない。以前は碎石を採っていて、それが原因だろうが

パイパス工事で早くなったかどうかはわかっていない。地滑り対策については、愛宕山の上部の土を取る計画になっている。現在仮設道路を建設中で仮設道路ができれば、下部に比重がからまないよう工事をすると聞いている。パイパス工事の着工は上部の土を取ってからになる。今のところ、いつになるかわからない。防災面では防災無線を関係7戸に設置して安全対策をとっている。



愛宕山地すべり現場(稲東地区)

# 明恵峡温泉の将来展望は

みょう え きょう



森 本 明



明恵峡温泉(管理1地区)

経営改善策を  
考えているのか

**質問** 平成14年、町の活性化と雇用の創出を期待しオープン、開館当時は泉質が良いと評判になり盛況を極めていた。しかし洗い場が狭いとの要望があり、お客様の入浴環境を好ましくするため月にリニューアルした。その後、極めて厳しい状

態に陥っているが、経営改善策を考えているのか。

**町長** 各種イベント開催で誘客を図ると共に、各クラブ、団体、会社等に利用の呼びかけを行う宣伝活動、経営改善等、あらゆる努力を尽くしていく。

食糧部門を  
委託してはどうか

**質問** 旅の楽しみを増すための、明恵に行けば美味しい、癒されるところと思われるオリジナルメニューを提供するために、従業員ごと委託できないか。

**町長** 特色ある料理を出せるよう、今後十分に委託も含め検討していく。

健康福祉施設を  
伊設してはどうか

**質問** 健康ブームを先取りした、リハビリ等も

行える施設を建設できないか。

**町長** 入浴と筋力トレーニング等も同時にできるよう、検討を重ねていく。

明恵天  
生誕地のパークを

**質問** 新金屋橋横の明恵上人の広告塔がくすんでいるので、きれいに改装すべきではないか。また数喜寺卒塔婆跡地に祠、井戸を建設できないか。



明恵上人生誕地(数喜寺)

**町長** 広告塔はできるだけ早く改装したい。また生誕地卒塔婆跡は、県の史跡で文化遺産となっており、今後の課題としたい。



改装が求められる広告塔



## まちづくり交付金事業を このまま進めていいのか

増 谷 憲

### 藤並駅改築などは

#### 質問

旧吉備町のと看から進めているまちづくり交付金事業は、地域交流センターに13億5200万円、藤並駅改築と周辺整備に約11億7490万円、地区道路整備に約5億2千万円、有鉄線跡地の遊歩道等に約4億7860万円、水の公園に3億5800万円、まちづくり活動推進3団体に約3000万円となっている。事業内容と事業効果、見直しはどうか。

藤並駅に特急が停まる見通しをJR和歌山支社に聞くと、まだ決まっていない。停まる特急も其島や湯浅駅に停まる中から何本かしか停まらない。ダイヤ改正の関係からも、駅が平成20年3月完成だと平成19年10月には特急が停まると決定しなければならぬ。見直し

はどうか。

しかも車両の殆どが6両編成で今のホームの長さで対応ができる。9両編成のためにホーム改築費用7300万円を追加で出す必要があるのか。

#### 町長

地域交流センターや水の公園にしてもできるだけ縮小できるように形で見直しをしたい。

風車が15基完成すると観光客が来る。高速4車線化や国道424号の整備で日高地方からも来る。藤並駅から高野山へも行く。

特急停車については、今の時点では停まるといえないが、駅舎完成と同時に停められると確信している。9両編成は数多く停まらないと思う。その辺も合わせて検討していきたい。

#### 企画課長

乗降客は箕島駅や湯浅駅と比較して数字に低いものがある。

しかし、交通アクセスや駐車場の整備、バリアフリー化することにより旧美山村や旧龍神村、湯浅町の古川や横田、有田市の糸我からも藤並駅を利用されると見込まれる人口が3万人から4万人に増える見込み。



### ベッドを借りられない 人への対策は

#### 質問

介護保険制度の改正で電動ベッド等を借りる基準が厳しくなり借りることのできない方が出てくる。対策を求めたい。リハビリ治療の期間を制限し、介護保険で対応することになったが、十分な治療が受けられない

なので対策を求める。

町長 社会福祉協議会に貸し出しの可能なベッド33台、車椅子29台があり、貸し出しの順番・期間が長期になるのでこういう点を検討し、活用できないかと思う。

リハビリ治療は、介護保険制度の中で対応してもらいたい。

### 障害者への負担増の 対策は

#### 質問

施設利用料や事業所、小規模作業所への負担軽減を。精神障害者通院医療費公費負担制度への助成を有田郡3町で検討を。

#### 町長

財政難の中で、地域で応援していくのが一番いい。小規模作業所への支援はしていきたい。精神障害者の公費負担制度は、広域で検討せよということであれば、課題として出していく。

## 下水道事業、住民への説明はていねいに



尾上 武 男

### 負担をどう くみ取るのか

**質問** 有田川町発展の基礎となる高速道路4車線化や藤並駅改修とともに重要な事業の一つとなる公共下水道事業も町内各所で工事が行われているが、一番肝心な住民への説明がなされていない。住民から、町内で工事が進んでいるが、負担金がいくらなのか。家の中の工事費についても全くわからない。また、使用できるのがいつ頃になるのかなど、一日も早く住民に知らせるのが町の努めではないか。

6月議会で質問した低利な融資の件はどうなっているのか。この融資に対して、少しでも利子補給することによって、すでに完成している農業集落排水事業でも加入増につながると思う。また、早く知らせることによつ

て各家庭では費用の積立てや心の準備もできると思う。町長の考えを問う。

**町長** 下水道事業への住民に対しての説明については、早急に密度の濃い説明をしていきたい。加入金については農業集落排水の加入金を目安にしていきたい。また、加入金の分割や使用料金などについては、15名の審議会をつくりその中で充分審議していただいて早急に決めていきたい。また、使用開始については、平成21年を予定している。



### イノシシの 処理に補助金を

**質問** 町内各地でサル・イノシシ・シカによる被害が多発し農家が困っている。イノシシの捕獲についての補助はあるが、サル・シカには補助がないように思う。特にシカによってミカンの小木や杉、桧の小木なども皮をはがされる被害が出ているのではないか。また、イノシシを捕獲しても夏場は食肉になりにくいので火葬場を持って行かざるを得ない。その



下水道工事現場

上、その処分費に大きさにもよるが約2万円もいると聞く。これに対して補助を出せないのか。また、岩野河地区に台湾サルとの混血問題もあると聞いているが、一日でも早い取り組みが必要ではないか。

**町長** 有害については農作物に多くの被害を及ぼしているが、特にイノシシについては吉備地区の北部でも被害が出ている。補助については、イノシシやサル、アライグマには国、県、町で出ているが、シカについては今はない。今後調査をして考えていきたい。また、イノシシの処理費については調査し、対応していきたい。台湾サルとの混血問題については、町だけでは無理である。県と充分相談しながら今後検討していきたい。





## 子どもたちのために よりよい教育環境を

堀江 眞智子

**質問** エアコンが設置されていない金屋・清水の学校への設置をすすめるために「温度調査を実施する」としていたが、その結果の報告をされた。また、授業時間確保のため夏休みが短縮されているが、8月31日までにもどすことを提案する。

これからの学校のあり方について、県教育委員会は、適正規模を、小学校で12から18学級、中学校で9学級から18学級としているが、有田川町では、藤並小学校と吉備中学校の2校だけで、他の小中学校は全て統廃合の対象校となる。学校は地域の要であり、学校があるから地域に子ども元気な声が生まれ、それを守る大人の輪が生まれると考える。地域にとって、大切な学校の統廃合は経

### エアコン設置を

済効率だけで考えるのではなく、地域の方、保護者、教職員、そしてなにより子どもたちの声をしっかり受け止め、安易に県の統廃合計画を押し進めないことを明らかにしていただきたい。

**町長** エアコン設置については、温度調査中であり、9月中に終える。学校の統廃合は県に従うつもりはない。ただ、余りに少ない小規模校では、子どものためになるのか考えていかなければならない。

**教育長** エアコンは全校設置を目標にしている。今後、温度調査などの結果をもって財政係と協議をしていきたい。

県の統廃合計画については、有田川町にはあてはまらない。保護者、住民の合意を得ながら進めていきたい。

**質問** たちはな養護学校の生徒たちの放課後の対応について、働くお母さん方のために、せめて5時頃までコスモ作業所などで預かってもらえるような手立てが取れないものか。

### 「たちはな福祉」の充実を

**町長** シルバー人材センターが行う子育て支援でできないか。またコスモ作業所にも対応できないか早急に相談したい。

**質問** 6月議会で要望したプラスチックゴミの週1回の収集を来年4月1日から実施できるということだが、同じ回収日となっている「ビン・カン」「新聞紙・布類」はどうなるのか。またゴミ袋が大変不足しているが、その原因と今後の対

### 「LIFE LINE」の充実を

策を講じられたい。そして不足しているゴミ袋が補充されるまで、違うゴミ袋でも、出す日を間違えなければよいということを商工会に指導することが必要ではないか。

**町長** 不便をかけたこととお詫びする。不足の理由はプラスチックゴミの住民の意識が高くなったこと。9月中に新しくできてくるので今後はこのようなことはないと思う。商工会と大手スーパーにはすでに指導した。



コスモ作業所(庄地区)

# 町道・農道の整備予算の増額を求める



## 楠 部 重 計

### 合併後の予算は少ない

**質問** 町道維持管理費、排水路、原材料費は合併前に比べ少なくなるばかりである。19年度は是非とも増額を求める。

**町長** 町道の維持、補修については、住民誰しもが通るのだから、危険な箇所については対処していきたい。



町道も危険箇所が多い

### 高齢化地区への対応は

**質問** 町道愛護会や河川愛護会など、地区住民協力による草刈りや雑木の伐採、美化運動などによって道路は守られている。しかし地区によっては高齢化により危険な場所での作業も多い。安全面も考え、町での整備を検討する必要があるのではないか。

**町長** 町道の整備は住民の協力を願いたい。吉備地区でも年に一度は草刈り等環境美化に協力していただいているが、助成はしていない。危険な箇所については町が対応したい。

**建設課長** 地域によって高齢地区もあり、今後の課題として受け止め検討していきたい。

### 農道舗装予算の増額を

**質問** 農道舗装は基盤整備上重要課題として町当局の考えにより、今議会での補正予算でも計上していただき感謝している。しかし、合併前の旧金屋町での実績、あるいは18年度に対する区要望に対しての予算としてはまだまだ、ほど遠いものがある。今後の対応、予算の増額を求める。

**町長** 今年は事業費400万で1/2の助成生コンクリートの現物支給で延長が伸びるのかどうかが十分検討し、継続して事業を実施したい。



6くらく運搬農道舗装

### 次世代に優しい 園地作り

**質問** 県では果樹農業を担う生産者の確保、後継者のための環境整備を支援する事業として、今年新しく園内道の整備に要する経費の補助、園地の平坦化に要する経費補助が導入された。町・県ともに共同事業とする方が効率的に実施できると思う。町長の見解を求めたい。

**町長** 町としては、園内道舗装も含めて、県と相談し、一緒に検討を進めていきたい。

# 声のコーナー

## 「わが町の未来図……」

### 有田川町議会傍聴記

去る9月21日、金屋地区々長会  
 常任委員会一同は町議会を傍聴しま  
 した。これは旧金屋町区長会の恒例  
 の行事でしたが、町が変わっても良  
 いことは続けよう、という趣旨で行  
 なわれました。今回は9月議会日  
 程の一般質問の1日目で、10名の議  
 員さんが登壇されました。この日は  
 議員さんが独自の視点で町政全  
 般の事柄から地域の身近な問題に  
 至るまで、多岐にわたって行政の姿  
 勢について質し、公にする機会です。  
 一回の質問で終わることなく、再質  
 問、再々質問をされるなど、議員  
 さん方の熱意が議場に溢れていまし  
 ました。  
 翻って私たちが区長は、日々行政と  
 住民との「インターフェイス」役を  
 担って、要望や陳情等で行政に働き  
 かけをしています。地域に関わる問  
 題や事柄が議場という公開の場で議  
 論され、行政の進路が直に見聞でき  
 る議会傍聴はとても有益なことだと思  
 います。当日は私達の他にも大勢

の方々に参加されていました。  
 「議会の傍聴」と言うと堅苦し  
 く聞こえますが、わが町の未  
 来図がどのように描かれていく  
 のかを知っておこうという気持  
 ちで、みなさまも是非一度足を  
 運ばれてはいかがでしょう。か。  
 常任委員会では、「良かったな  
 あ、また聴かいてもらおうよ。」  
 という声も出ています。  
 最後になりましたが、お世  
 話下さった総合業務課、議会  
 事務局のみなさま方に感謝申  
 し上げます。  
 金屋地区々長会常任委員  
 松本 穰



**求む!**

広報委員会では、議会  
 広報誌「かわら版」の表  
 紙を飾る写真を、町民み  
 なさんから募らせていた  
 だきたいと思えます。  
 有田川町の名所や風景  
 などお気軽にご応募下さ  
 い。尚、勝手ながらお寄せ  
 いただいた写真は返却で  
 きませんのでご理解下さ  
 い。みなさんからのご意  
 見、ご感想等もお待ちし  
 ています。  
 くわしくは事務局まで。

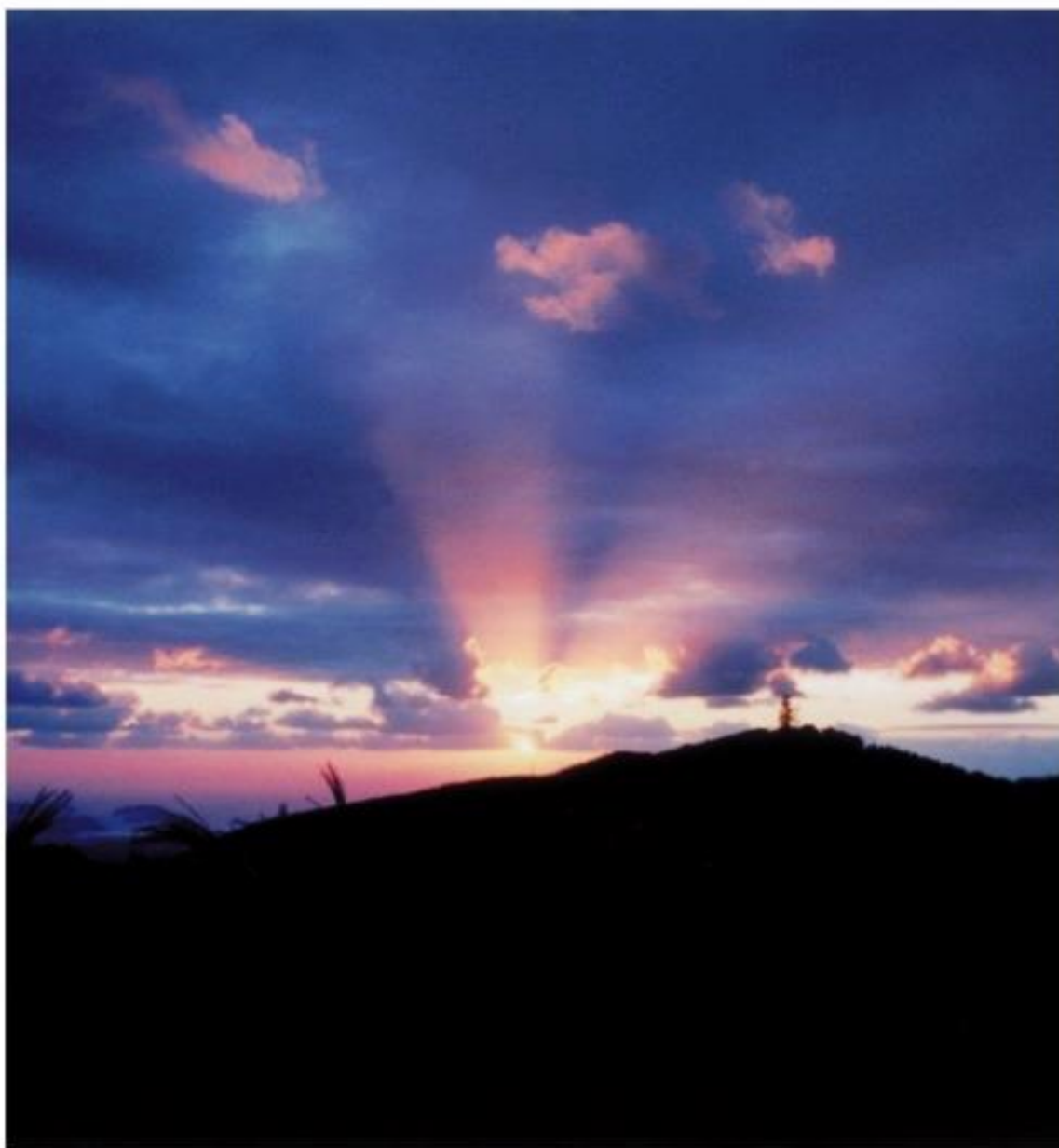
**「みなさんの声を  
 お待ちしています」**

議会広報委員会では、  
 充実した紙面作りのため  
 みなさんからの「ご意見、  
 ご感想等、お待ちしております。  
 ます。ぜひお寄せ下さい。

**傍聴に  
 お越し  
 ください**

次の定例議会は12月の  
 中旬ごろになります。  
 議会では、みなさんの  
 生活に直結する問題を協  
 議しております。  
 ぜひとも傍聴にお越し  
 下さい。  
 お待ちしております。  
 議場は議会棟の4階で  
 す。

- 議会広報編集  
 特別委員会  
 構成メンバー**
- 浦 博 善
  - 岡 省 吾
  - 増 谷 憲
  - 堀 江 眞 智 子
  - 東 武 史
  - 西 弘 義
  - 森 谷 信 哉
- は委員、○は副委員  
 員、ほかは委員となりま  
 す。



夕日に映える生石山頂 (写真提供・岩本 勉氏)

## 編集後記

分権時代に対応した新たな町村議会の活性化方策が町村議会活性化研究会から出されています。これを見ますと、議会広報を発行している町村は84%もあります。

広報誌の良さは何度でも読み返せる、編集に努力をし中身の濃いものができるとなっております。

さらに、今後の課題として考えさせられる広報、委員会や行政視察の報告、会期中に議会が取り組んだ課題の解説など求めています。

できるだけ情報公開できるように取り組んでいきたいと思えます。今議会から議会日程を町のホームページに掲載したのもその一環です。

お問い合わせ

☎52121111

吉備庁舎4階

議会事務局まで